

【2021年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワークの理論と方法 a		選択	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>現代社会において、さまざまな課題を抱え、支援を求めている人々に対して、ソーシャルワーク実践を展開するために必要不可欠な理論と方法を身につけることを目的とする。</p> <p><概要>本講は、人と環境の交互作用に関する理論、ソーシャルワークの過程、ソーシャルワークの実践モデルとアプローチなど、ソーシャルワーカーとして実践に携わるうえで求められるさまざまな知識・技術的基盤について同時双方向型授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習し、その後にフィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	<p>ソーシャルワークの理論と方法をしっかりと理解するためには、事前に教科書を精読し、重要な内容についての概要を整理し、分かりにくい専門用語については、下調べするなどの予習を行ったうえで講義を受けることが望ましい。</p>				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 6 ソーシャルワークの理論と方法 [共通科目] /一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版。必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワークの意義、構造と機能について理解し、説明できる。			HSU(1)、HSU(3)、WP(1)、WP(2)	
②	対人援助技術としてのソーシャルワークの基礎的な技術を習得できる。			HSU(1)、HSU(3)、WP(1)、WP(5)	
③	人と環境との交互作用に関する理論とソーシャルワークについて理解し、説明できる。			WP(1)、WP(2)、WP(3)、WP(6)	
④	ソーシャルワークのさまざまな過程について理解し、説明できる			WP(1)、WP(2)、WP(3)、WP(6)	
⑤	ソーシャルワークのさまざまな実践モデルとアプローチについて理解し、説明できる。			WP(1)、WP(2)、WP(3)、WP(6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション(本科目の意義、受講時の約束、講義の進め方、成績評価、他)を行う。 人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク① ソーシャルワーカーが学ぶ理論について学習する。	同時双方向型授業	シラバスを読んで全体像を把握してくる	4	
2	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク② システム理論、生態学理論、バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
3	人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワーク③ ミクロ・メゾ・マクロにおけるソーシャルワーク、目標と展開過程について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
4	ソーシャルワークの過程①インテークについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
5	ソーシャルワークの過程②アセスメントの意義と目的、方法について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
6	ソーシャルワークの過程③アセスメントの実際について学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
7	ソーシャルワークの過程④プランニングについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
8	ソーシャルワークの過程⑤支援の実施とモニタリングについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
9	ソーシャルワークの過程⑥支援の終結と結果評価、アフターケアについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
10	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ①アプローチの考え方、治療モデル・ストレングスモデルについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
11	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ②生活モデル・心理社会的アプローチ・機能的アプローチについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
12	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ③問題解決アプローチ・課題中心アプローチ・行動変容アプローチについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
13	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ④認知アプローチ・危機介入アプローチ・エンパワメントアプローチについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

14	ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ⑤ナラティブアプローチ・解決志向アプローチ・さまざまなアプローチについて学習する。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4					
15	全体のフィードバックを行う。	同時双方向型授業	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4					
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		70	0	0	0	30	100		
総合 力 指 標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60		
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①	✓	期末試験を実施する。期末試験では、①～⑤について、知識の観点から正誤を判断する問題を出題する。出題方法として、○×式、並びに記述式の問題を出題する。なお、記述式問題では、①～⑤に関する達成度も総合的に判断できるような出題を行う。				試験の答案用紙は返却しないが、模範解答及び全体の得点分布等の評価結果を公表する。なお、希望者には採点した結果を解説する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	授業終了時に記載してもらおう Teams へのチャット機能を使用した投稿をリアクションペーパーに代替し評価する。				前回のチャット投稿を使い振り返りを実施する。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤	✓							
	⑥								
備 考									
<p>実践的授業の内容：学生が身近に感じている福祉を共有しながら、教科書に記載されている一般的事項を確認する。社会福祉士としての教員自身の事例を示し、専門家が提供する福祉と地域住民が求める福祉に関する認識の違いについて学習する。</p> <p>*Teams を使用した同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p>									